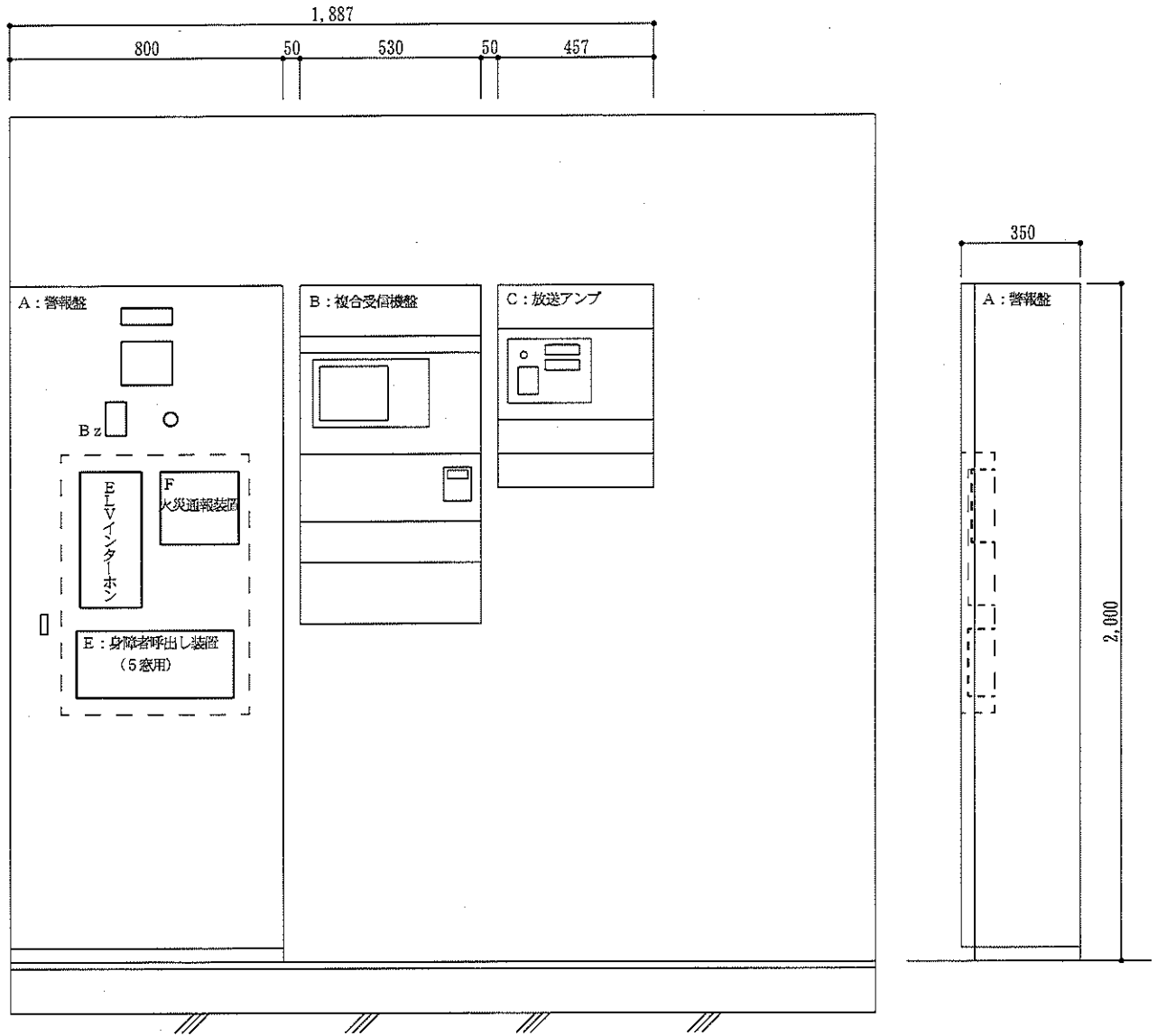
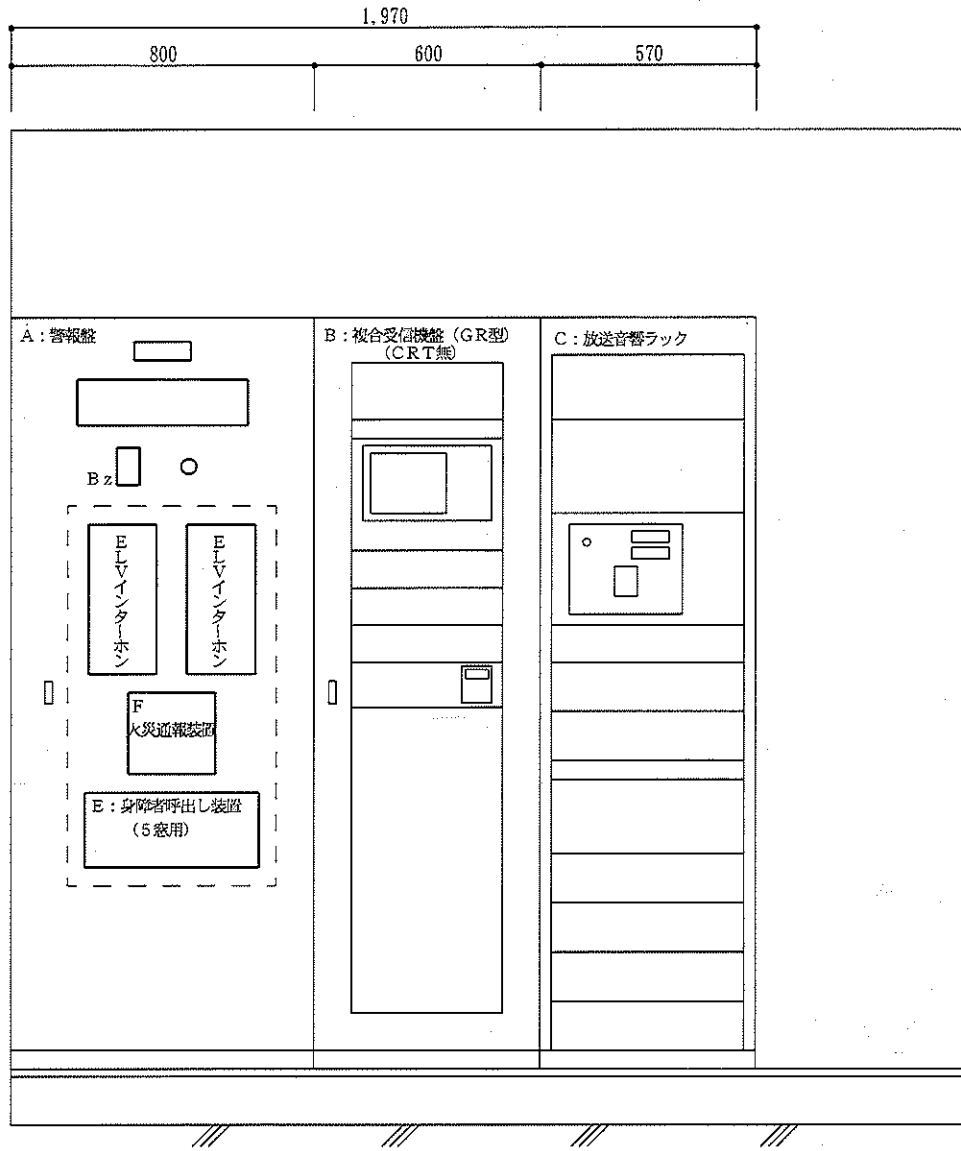


規模 3,000m²程度 (事務所内分電盤無の場合)



使用機器	W × H × D
A: 警報盤	800×2000×350
B: 複合受信機盤 (R型)	530×1000×160
C: 放送アンプ	457× 800×147

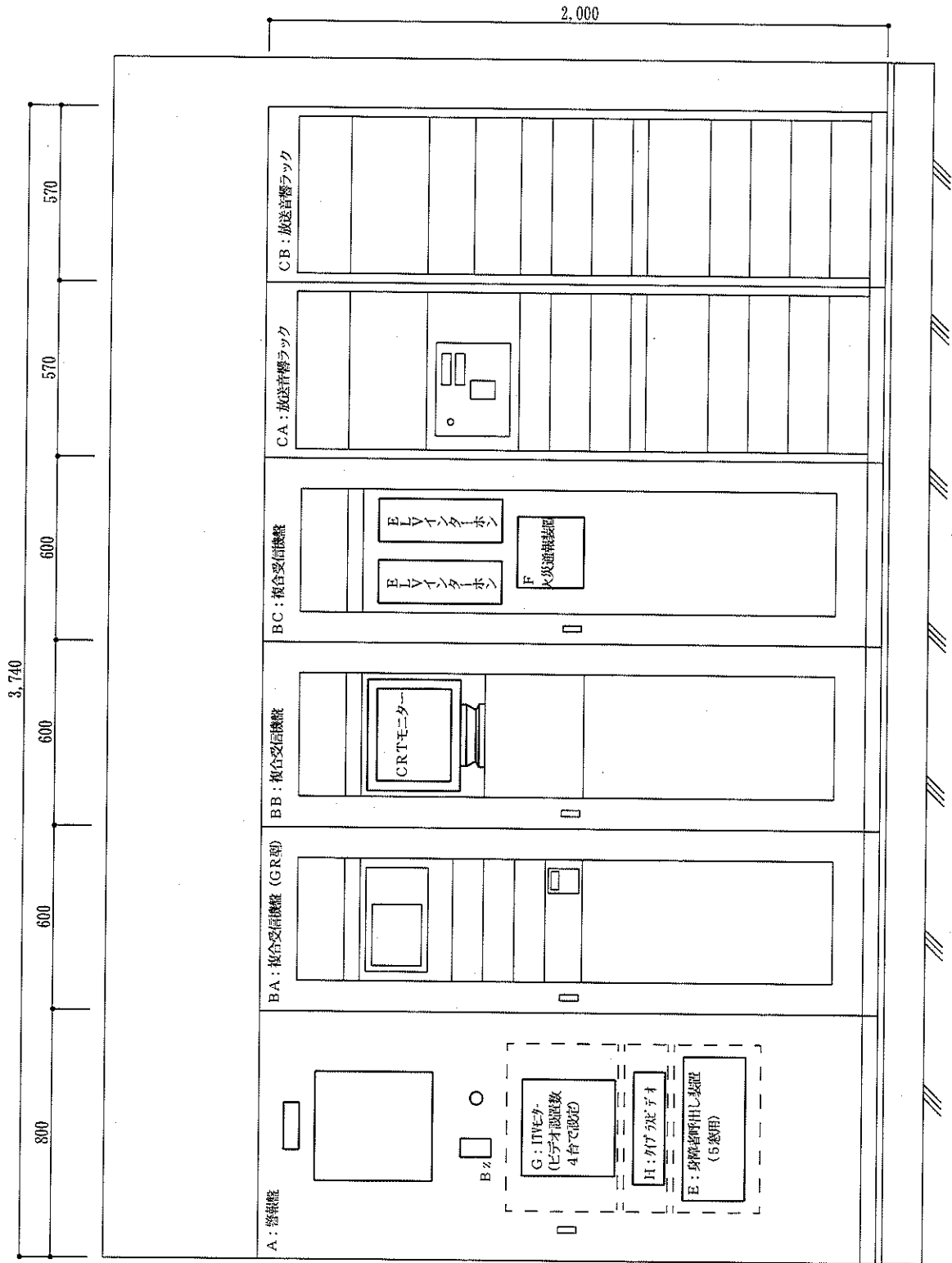
規模 10,000m²程度 (事務所内分電盤無の場合)



使用機器	W × H × D
A: 警報盤	800×2000×350
B: 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450
C: 放送音響ラック	570×2000×454

規模 15,000m²程度 (事務所内分電盤無の場合)

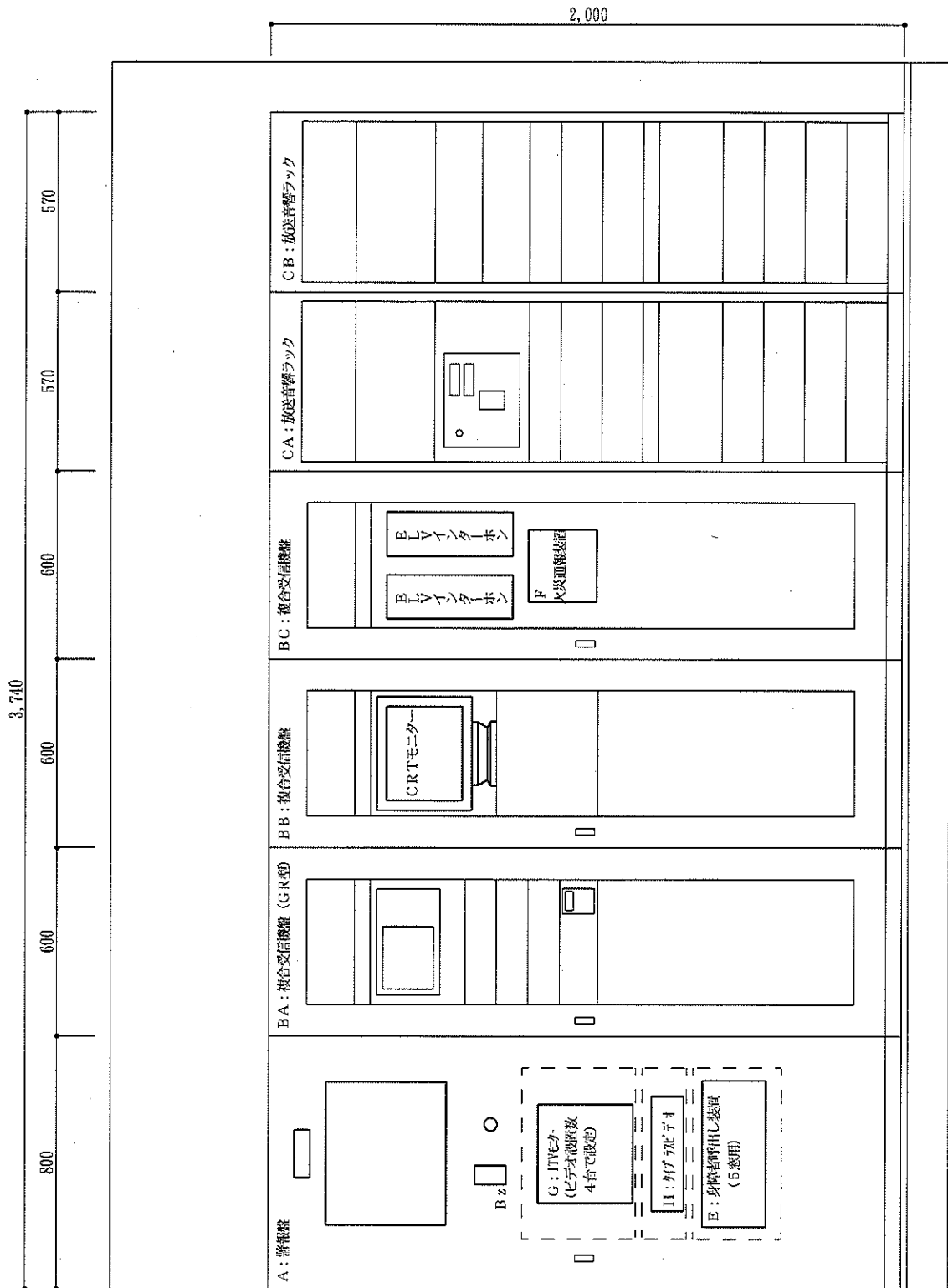
※東京火災予防条例では、地階を除く階数が11以上で、15,000m²以上のものは、防災センターを設ける事になる。



使用機器	W × H × D	使用機器	W × H × D
A : 警報盤	800×2000×350	CA : 放送音響ラック	670×2000×454
BA : 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450	CB : 放送音響ラック	570×2000×454
BB : 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450		
BC : 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450		

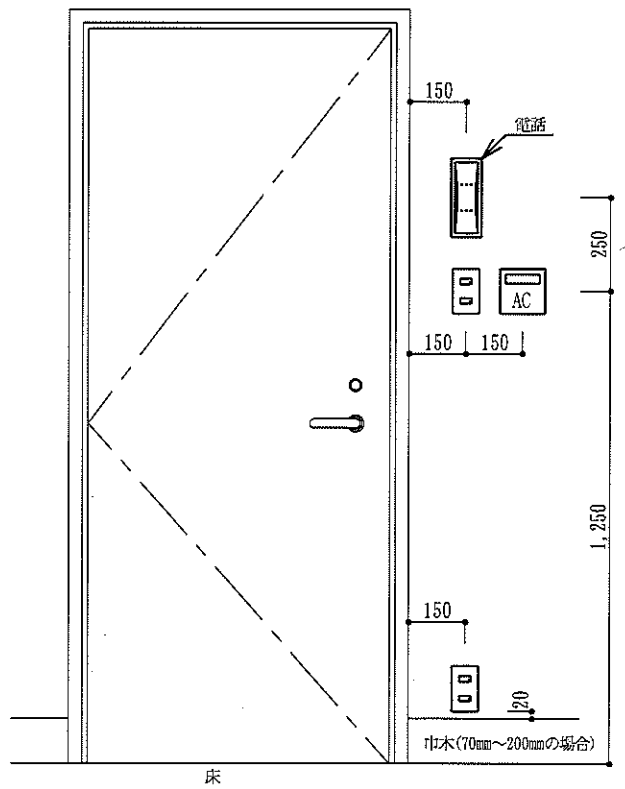
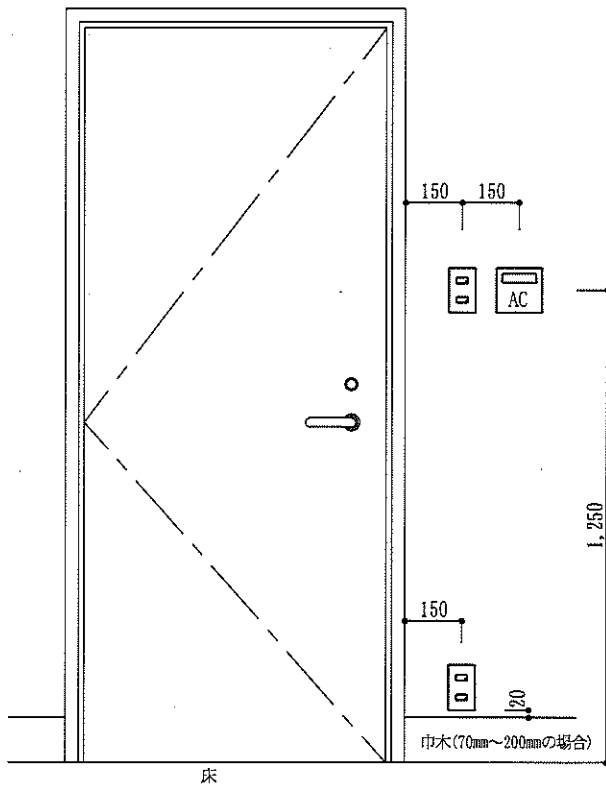
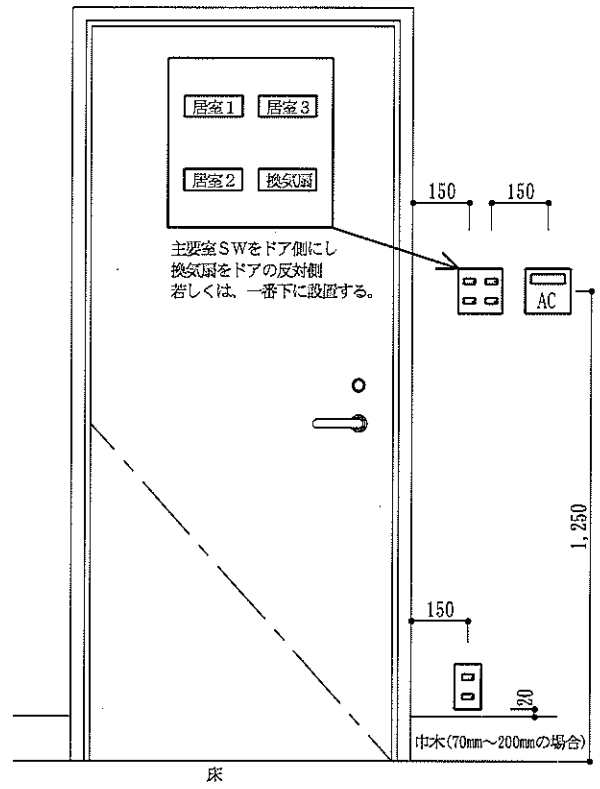
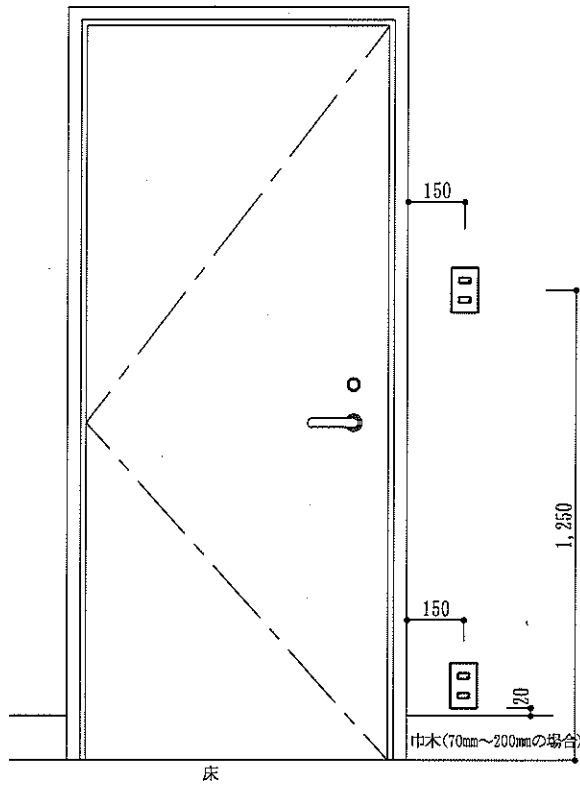
規模 20,000m²程度 (事務所内分電盤無の場合)

※東京火災予防条例では、地階を除く階数が5以上で、20,000m²以上のものは、防災セナ-を設ける事になる。

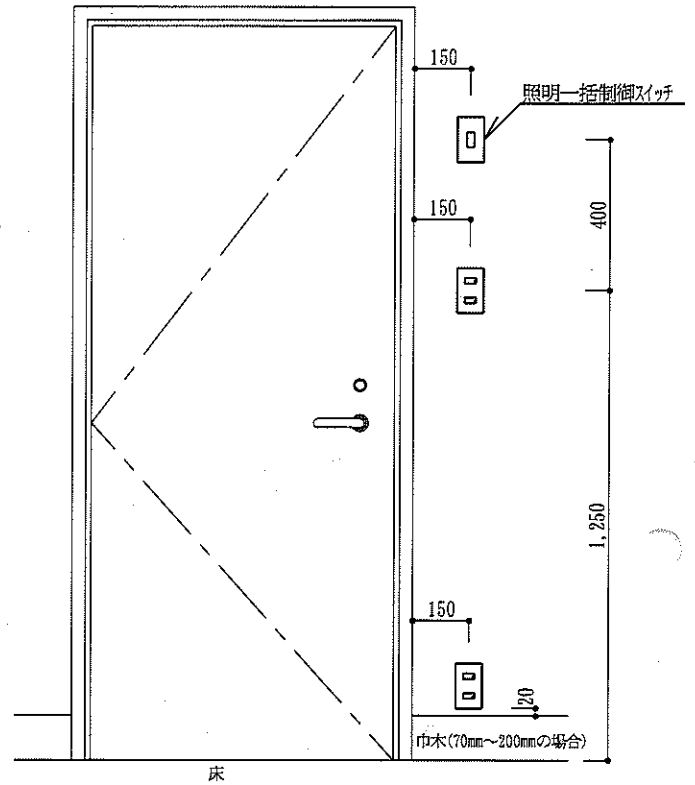
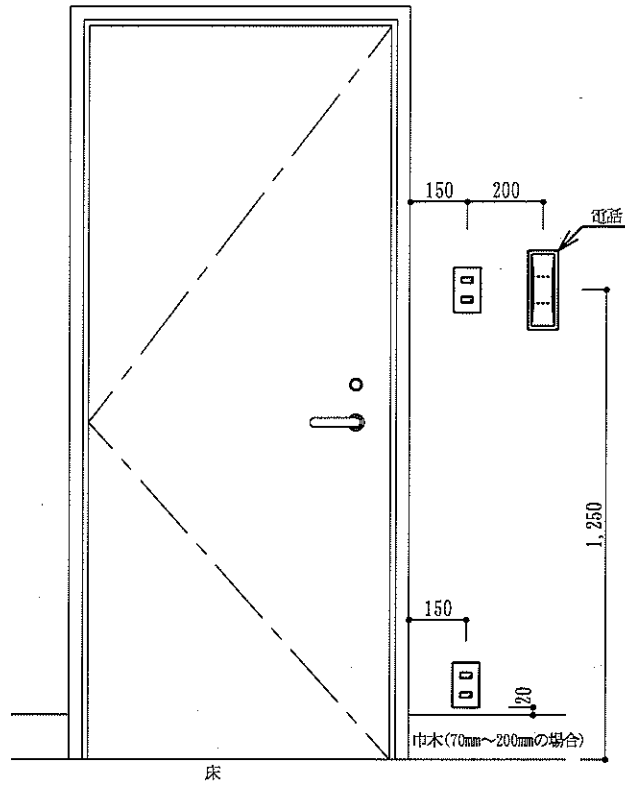


使用機器	W × H × D	使用機器	W × H × D
A: 警報盤	800×2000×350	CA: 放送音響ラック	570×2000×454
BA: 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450	CB: 放送音響ラック	570×2000×454
BB: 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450		
BC: 複合受信機盤 (R型)	600×2000×450		

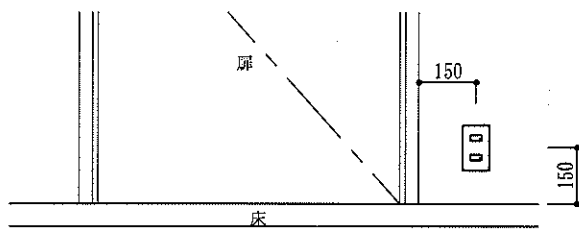
コンセントプレートは新金属を規準とする。
耐火壁及び遮音壁（主に客室間）にはコンセントプレート等の設置はしない。



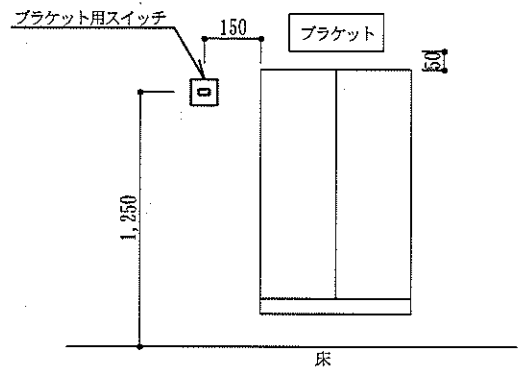
コンセントプレートは新金属を規準とする。
耐火壁及び遮音壁（主に客室間）にはコンセントプレート等の設置はしない。



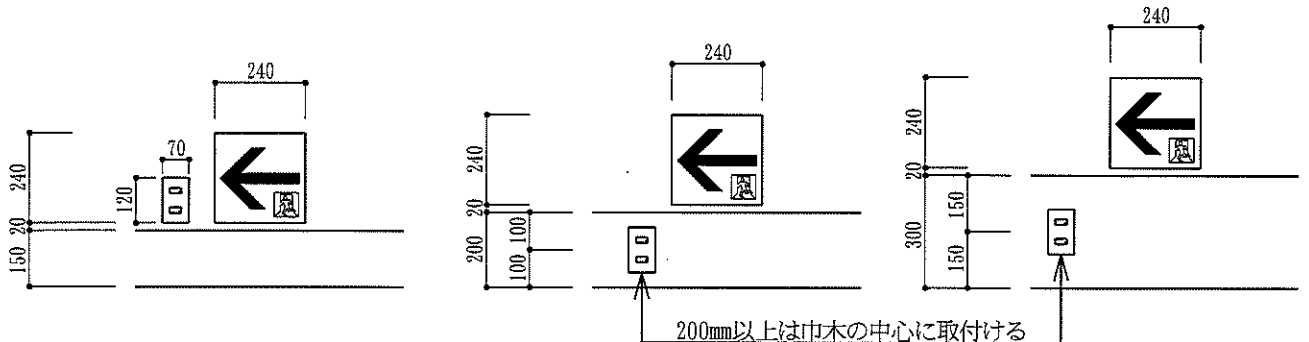
巾木無しの場合に取付けるコンセント位置

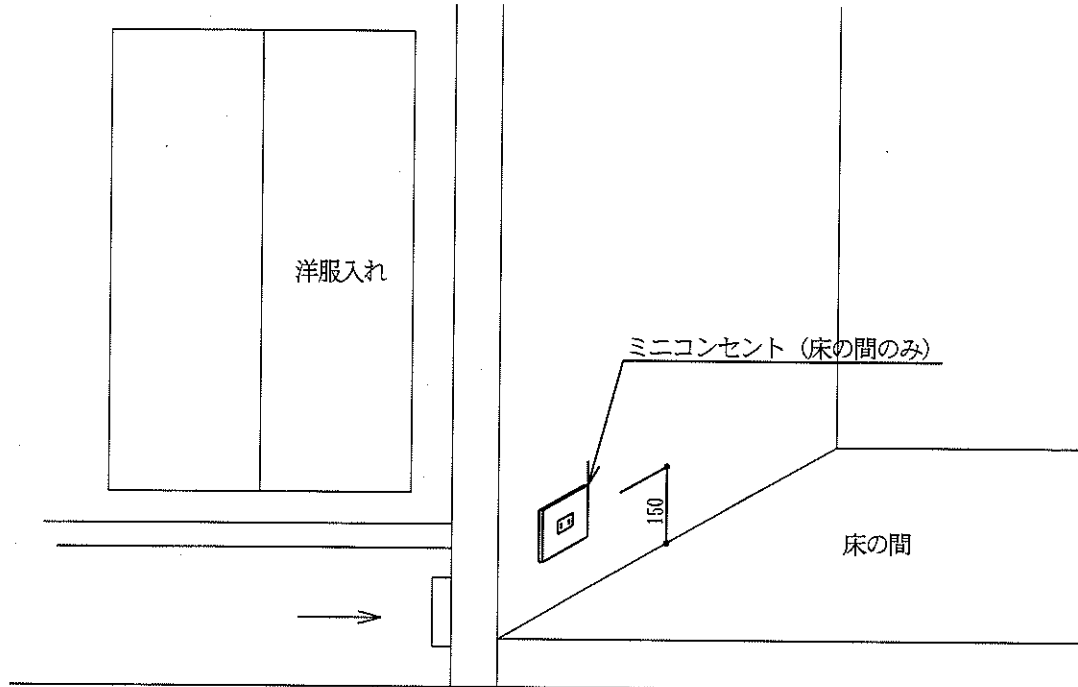


客室姿見用照明とスイッチの取付け位置



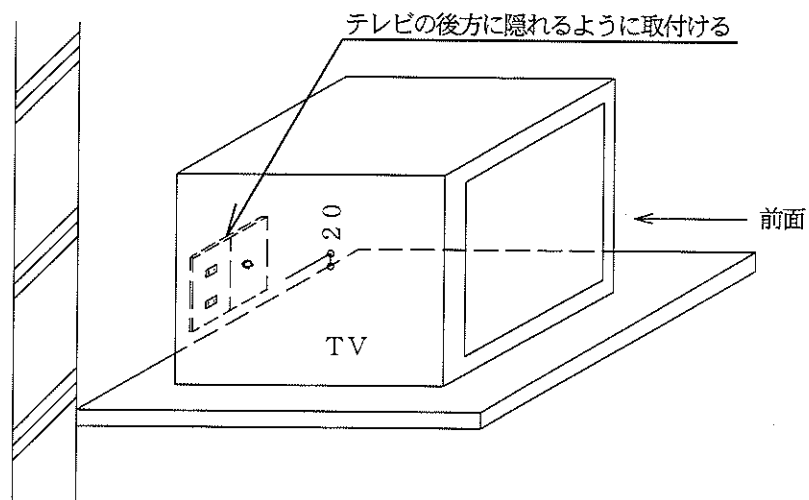
廊下におけるコンセント及び誘道灯取付け高さ位置

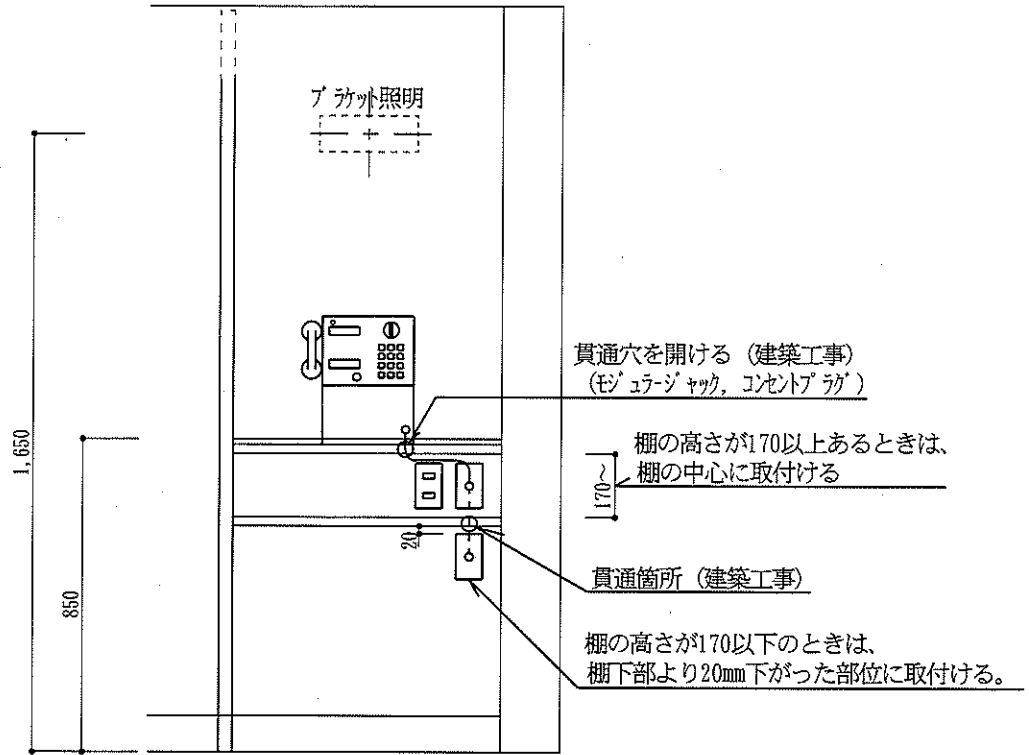




洋服入れの下が空いている場合は、
洋服入れの下に取り付ける。
(床の間の見える所には付けない。)
洋服入れの下が空いていない場合は床の間に付ける。

テレビ台におけるテレビ用コンセント及び端子の取付け位置





電話ジャック取付け位置 (客室)

